かしこく　やさしく　たくましく　　国際感覚を身に付け、確かな学力と人間性を備えた児童生徒の育成

めざせ！南十字星

笑顔があふれ、しあわせを感じられる学校

学 校 便 り
令和７年１２月最終号
ヨハネスブルグ日本人学校

２学期が終了！　笑顔と挑戦を胸に、新しい年へ

84 日間にわたる 2 学期の教育活動を、本日無事に終えることができました。これも、保護者の皆様のご理解とご協力、そして子供たちの頑張りのおかげです。心より感謝申し上げます。

今学期は、学習面・生活面ともに子供たちの成長を感じる場面が数多くありました。授業では、仲間と意見を交わしながら課題に取り組む姿が見られ、行事では、一人ひとりが役割を果たし、協力し合うことで大きな成果を生み出しました。こうした経験は、子供たちに自信を与え、次の挑戦への力となることでしょう。

また、84 日間を通して、大きな事故やけがもなく、安全・安心な学校生活を送ることができたことは、何よりの喜びです。教職員一同、日々の見守りや声かけを大切にしながら、子供たちが笑顔で過ごせる環境づくりに努めてまいりました。これからも、この取り組みを継続し、さらに充実させていきたいと考えています。

来学期も、子供たちの笑顔と挑戦を大切にしながら、教職員一同、力を合わせて教育活動を進めてまいります。どうぞ良い年をお迎えくださいますようお願いいたします。

以下、本日の終業式で子供たちに話した内容をお伝えします。お時間おありの際、ご一読いただきますよう、お願いいたします。

みなさん、おはようございます。。今日で 2 学期が終わります。まず、ここまで元気に学校に通い、学び続けたみなさんを心からたたえたいと思います。

今学期、みなさんはたくさんのことを学びました。国語や算数、英語、理科、社会などたくさんの教科。そして運動会や発表会では、友達と力を合わせて頑張りましたね。その一つひとつが、みなさんを大きく成長させています。

さて、今日は「AI 時代だからこそ必要な『考える力』」という話をしたいと思います。みなさん、AI という言葉を聞いたことがありますか？AI は、Artificial Intelligence（アーティフィシャル・インテリジェンス） の略で、日本語では「人工知能」といいます。つまり、人間のように考えたり学んだりするコンピューターのことです。

AI はとても便利です。たとえば、車の自動運転、外国語の翻訳、絵や写真を作ること、音楽を作ることもできます。最近では、AI が小説を書いたり、スポーツの戦術を考えたりすることもあります。ここ南アフリカでも、AI は活躍しています。たとえば、サバンナで野生動物を守るために、AI がカメラの映像を分析して密猟者を見つける仕組みがあります。また、交通渋滞を減らすために、AI が信号のタイミングを調整することもあります。AI は、自然や人々の生活を守るために使われているのです。

でも、AI がどんなに進歩しても、人間にしかできないことがあります。それは「考えること」「感じること」「人と協力すること」です。AI はたくさんの情報を集めて答えを出すことはできます。でも、「なぜそうなるのか」「どうしたらもっとよくなるのか」を考えるのは、人間の仕事です。そして、友達と一緒に考えたり、話し合ったりすることも、AI にはできません。

今学期、みなさんは運動会や発表会で、友達と力を合わせて頑張りましたね。うまくいかないこともあったと思います。でも、そのときに「どうしたらできるかな？」と考えたはずです。その考える力こそ、AI 時代に一番大切な力です。

夏休みは、AI に頼らず、自分で考える時間をもってみるのもよいと思います。本を読んで、想像してみるのもいいですね。「もし自分が主人公だったらどうするかな？」と考えることは、とても楽しいことです。家族と話す時間も大切にしてください。人と話すことで、新しい考えもどんどん生まれます。

３学期は今年度のまとめの学期です。みなさんがさらに力を伸ばし、自分の目標に向かって進めるよう、先生たちも応援します。新しい年を迎えるにあたり、「やってみよう」「考えてみよう」という気持ちを忘れずに、始業式で元気に会いましょう！それでは、よい夏休みを。